

中分清掃・橋梁集水ます清掃(リスクアセスメント)作業手順書

会社名	中日本ハイウェイメンテナンス名古屋機	施工ケース	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	平成24年4月1日		2tトラック、高圧洗浄車等	パール・ハンマー、み・ごみ袋 ほうき	保護帽、手袋、安全靴、安全チョッキ、 保護眼鏡、防護ネット、ヤッケ、長靴 マスク	水
改訂日	令和1年7月10日					
作成者	改訂者 澤田					
必要資格等	運転免許(旧普通・中型)、職長教育講習				作業人員	その他
						8名

可能性	1.ほとんど起きない (5年に1回程度)	2.たまに起きる (1年に1回程度)	3.かなり起きる (6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	1~2	3~4	5~9

作業工程	施工ケース	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価 可能性 重大性	評価 減対策	誰が 点検・確認	対策後		参考図(別紙も可)		
								可能性	重大性			
準備作業	共通	1	・作業前ミーティング	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	新規入場教育の受講	職長	1	2	危険度:1 危険度:2 危険度:3	
		2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	体調の確認、7Aコーンチェックを行う。	職長	1	1		1
		3	服装、保安用具の点検をする。	自発光チョッキの球切れがある。からまんてーの音が聞えない。	2	2	規制員に、事前点検を実施させる。	全員	1	2		2
		4	機械・規制材等の準備、点検をする。	協議書に元づいた規制材でない。車両の不具合。	2	1	担当者との協議書を元とする事前打合せをする。	全員	1	1		1
		5	朝礼、KYミーティングを行う。	(痛んだ規制材は使わない、点灯確認) 規制時に確認が悪い。	2	2	4 事前点検を確実に実施する。	全員	1	2		2
		6	作業手順の確認をする。	突然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2 KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	2	1		2
		7	車両点検、荷姿、プレートチェックをする。	各自の作業が分かっていない。現場で不安全行動を起こす。	3	1	3 個人の作業内容、作業手順を確認する。 緊急時の合図、連絡方法を確認しておくこと。	全員	2	1		2
移動	共通	1	・現場への移動	積荷等が落下する。	2	2	4 車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2	
		2	交通ルールを守り運転する。	規制材の落下。	2	3	6 ランコンなどをアオリより出さない。ロープによる乗車。	全員	1	3	3	
		3	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	業務用プレートの不正使用。	2	1	2 プレートチェックを自主とメンテ職員にて行う。	職長	1	1	1	
		4	出発(後尾は無関係を入れてから)	人身、物損事故、携帯電話使用、シートベルト。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	運転手	1	3	3	
		5	最寄り休憩施設、BS等へ待機。	プレート区域外使用。	2	1	2 車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。 (自主、メンテ職員)	全員	1	1	1	
		6	出発(後尾は無関係を入れてから)	管制センターが状況判断できない	2	1	2 出発前には関係するよう徹底させる	後尾助手	1	1	1	
本作業	共通	1	・現場離脱	駐車スペースが無く、一般車両とラブル	2	1	2 一般車両に配慮して駐車する。BSでは回転灯やハザード点灯する。	運転手				
		2	・現場離脱	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	2 運転席には、ハンドル切、サイドブレーキ、 停止させ発進の準備を要する。	全員	1	2	2	
		3	・現場離脱	後退時に一般通行者、駐車車両に接触する。	2	2	4 後退誘導の方法は以下のとおりとする 1 誘導員は運転手から見える位置に立つ(車両後方後方2m) 2 腕を高く上げ、手のひらを誘導する方向に大きく振り振る 3 停止させ発進の際は腕を高く上げ、手のひらを運転手に向け (注意喚起) 4 誘導員は周囲の車両、障害物、歩行者の動向にも注意し 自らの安全を確保して誘導する。 5 一般車の往来が激しい時は、後退誘導を中止し待機する	誘導員	1	2	2	
		4	・現場離脱	誘導を受ける際は、合図がはっきり聞こえるように運転席の窓を開ける	2	2	4 運転手は誘導の合図で後退する。途切れたら、直ちに車両を停止させ状況を確認する。	運転手	1	2	2	
		5	・現場離脱	脚立からの転倒。	1	2	2 脚立は、法面フェンスに堅固に固定する。	全員				
		6	・現場離脱	フェンス出入口用扉で手を挟む。	1	1	1 扉を開けた後、扉を固定する。	全員				
移動	共通	1	・現場離脱	フェンスの鍵をなくす。	1	1	1 扉に掛けておく	全員				
		2	・現場離脱	職長は、安全管理に心がける。	1	1	1 職長は作業より、安全管理・仕上げ員合意に留意する。	職長				
		3	・現場離脱	排水溝に足を取られる転倒。	1	1	1 足元をよく注意して歩く。	全員				
		4	・現場離脱	集水ますの清掃	1	1	1 重いものは複数人で掛声をかけ合い作業をする。	全員				
		5	・現場離脱	集水ますの清掃	1	1	1 重いものは複数人で掛声をかけ合い作業をする。	全員				
		6	・現場離脱	集水ますの清掃	1	1	1 重いものは複数人で掛声をかけ合い作業をする。	全員				
移動	共通	1	・現場離脱	発生材の積み込み	1	2	2 作業員は運転手と合図を取り、確認後積み込みをする。	全員				
		2	・現場離脱	発生材の積み込み	1	2	2 積み込み作業中に運転手は必ずギアをニュートラルにし、サイドブレーキを引き絶対に動かさない。	運転手				
		3	・現場離脱	発生材の積み込み	1	2	2 一般車の通行を妨げない。人や車にかけない。	全員				
		4	・現場離脱	発生材の積み込み	1	2	2 運転手は誘導員なしでは動かない。	全員				
		5	・現場離脱	発生材の積み込み	1	2	2 車両の移動は必ず誘導員の指示に従う。	全員				
		6	・現場離脱	発生材の積み込み	1	2	2 誘導員は運転手から見える位置に立つ。	全員				
移動	共通	1	・現場離脱	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	全員				
		2	・現場離脱	プレート区域外使用。	1	1	1 車両運転前に確認しておく。	全員				
		3	・現場離脱	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	全員				
		4	・現場離脱	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	全員				
		5	・現場離脱	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	全員				
		6	・現場離脱	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	全員				
共通事項	共通	1	・現場離脱	後かたづけ	1	2	2 車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく。	全員				
		2	・現場離脱	作業車両離脱	通行車両、歩行者との接触。	1	2	2 運転手は誘導員なしでは動かない。 ・運転手と助手は一般車の切れ目が安全で且つ300m以上あると確認した後、流出する。 ※誘導員不在の場合 ・車両の移動は必ず誘導員の指示に従う。 ・誘導員は運転手から見える位置に立つ。	運転手・助手	1	1	1
		3	・現場離脱	規制材撤去	通行車両と規制作業員との接触。	1	2	2 誘導員は、保安業務に徹する。 ・通行量を見ながら規制材を撤去する。	誘導員	1	1	1
		4	・現場離脱	規制材撤去	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	運転手	1	2	2
		5	・現場離脱	規制材撤去	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	運転手	1	2	2
		6	・現場離脱	規制材撤去	人身、物損事故。	2	3	6 nexcoの一端であることを自覚して運転する。	運転手	1	2	2